



公益社団法人 日本ホッケー協会

第45回 全国高等学校選抜ホッケー大会

開催日時 3 月 26 日 (水) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 雨

【全試合結果】 < Aコート >

男子 第1試合 9:30	天理高校	5	$\begin{pmatrix} 1 - 3 \\ 4 - 1 \end{pmatrix}$	4	川薩清修館高校
男子 第2試合 11:20	山梨学院付属高校	8	$\begin{pmatrix} 6 - 1 \\ 2 - 0 \end{pmatrix}$	1	伊豆中央高校
男子 第3試合 13:10	沼宮内高校	11	$\begin{pmatrix} 6 - 0 \\ 5 - 0 \end{pmatrix}$	0	阿南工業高校
男子 第4試合 15:00	伊吹高校	2	$\begin{pmatrix} 2 - 1 \\ 0 - 0 \end{pmatrix}$	1	岐阜総合高校

< Bコート >

男子 第1試合 9:30	岐阜各務野高校	1	$\begin{pmatrix} 0 - 3 \\ 1 - 6 \end{pmatrix}$	9	丹生高校
男子 第2試合 11:20	北海学園札幌高校	0	$\begin{pmatrix} 0 - 9 \\ 0 - 2 \end{pmatrix}$	11	今市高校
男子 第3試合 13:10	飯能南高校	2	$\begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 1 - 1 \end{pmatrix}$	1	立命館高校
男子 第4試合 15:00	玄界高校	0	$\begin{pmatrix} 0 - 1 \\ 0 - 2 \end{pmatrix}$	3	横田高校

【各試合の結果・詳細】

Aコート 男子 第1試合

天理高校 5 $\begin{pmatrix} 1 & - & 3 \\ 4 & - & 1 \end{pmatrix}$ 4 川薩清修館高校

<得点>

天理 : 19分52分58分#14村岡、38分43分#2稲山
川薩清修館 : 14分30分#10下畝地、25分57分#6木佐貫

<戦評>

天理高校のセンターパスにより前半戦が開始された。立ち上がりから天理のペースで試合は進むが得点に結びつかない。対する川薩清修館高校もパスを繋いで攻め入るが天理の堅い守りを崩せない。14分川薩清修館#10下畝地がサークル内でパスを受け取り、ヒットシュートを決め、先制する。追いつきたい天理もパスを繋いで攻め、19分#14村岡がサークル内のこぼれ球をヒットシュートで決め同点となる。その後も両チームの攻防が続くなか川薩清修館が25分#6木佐貫、30分#10下畝地が続けて得点を挙げ、3-1で川薩清修館がリードしたまま前半を折り返す。

川薩清修館のセンターパスにより後半戦が開始。38分、天理がPCを2本続けて取得。#2稲山がフリックシュートを決め、差を縮める。43分PCで#2稲山がフリックシュートを決め、同点となる。両チームの攻防が続くなか52分天理#14村岡がタッチシュートを決め逆転する。57分川薩清修館#6木佐貫がサークル内に切り込みヒットシュートを決め、同点に追いつく。58分天理#2稲山がプッシュシュートを決め天理が再びリードする。その後、川薩清修館が立て続けにPCを取得するも得点には至らない。63分、69分と天理にグリーンカードが科せられ、川薩清修館は攻撃のチャンスとなるが得点には繋がらない。そのまま試合は4-5で天理が勝利。

テクニカルオフィサー	鹿野 育郎	アンパイア	渡邊 道彦
ジャッジ	長屋 恭一・大橋 守		松原 久

Aコート 男子 第2試合

山梨学院附属高校 8 $\begin{pmatrix} 6 & - & 1 \\ 2 & - & 0 \end{pmatrix}$ 1 伊豆中央高校

<得点>

山梨学院附属 : 1分18分28分39分#2沖津、5分8分25分#5小澤、61分#8小松
伊豆中央 : 31分#9小池

<戦評>

伊豆中央高校のセンターパスにより前半戦が開始された。山梨学院は立ち上がり1分#2沖津がリバースヒットを決め、先制点を挙げる。攻撃の手を緩めない山梨学院は5分、8分と立て続けに#5小澤がプッシュシュートを決め、3-0とリードを広げる。一方、伊豆も堅いDFから前線へボールを繋げるも、得点には至らない。山梨学院は18分にPCを取得し、#2沖津がフリックシュートを決め、さらにリードを広げる。その後も山梨学院の攻撃は続き25分#5小澤がプッシュシュートを決める。28分山梨学院はPCを取得し、#2沖津が左下に決め6-0となる。伊豆中央は31分早いパス回しからシュートを狙い、#9小池がプッシュシュートを決め、6-1で前半戦を折り返す。

後半戦入っても山梨学院のペースで試合が進む。39分#2沖津がGKをかわし、プッシュシュートを決める。その後、両チームとも堅い守備を見せ、試合は均衡する。伊豆中央はロングパスで前線へボールを繋ぐが得点には至らない。61分山梨学院は細かいパス回しから連続してPCを取得し、3度目のPCがPSとなり、#8小松が右下に決め、8-1とリードを広げる。その直後67分伊豆中央がPCを取得するが決めきることが出来ず8-1で山梨学院が勝利し、準々決勝へコマを進める。

テクニカルオフィサー	横田 信明	アンパイア	重森 誠
ジャッジ	長田 和雄・妹背 修治		百崎 充洋

Aコート 男子 3試合

沼宮内高校 11 $\begin{pmatrix} 6 & - & 0 \\ 5 & - & 0 \end{pmatrix}$ 1 阿南工業高校

<得点>

沼宮内 : 4分18分#5岩崎、16分22分24分#10山口、34分50分57分62分#7上澤、54分#9大下、70分#2千葉

阿南工業 :

<戦評>

阿南工業高校のセンターパスにより前半戦が開始された。立ち上がりから沼宮内のペースで試合は展開される。4分沼宮内#5岩崎がサークルトップからドリブルで持ち込み、そのままシュートを決め先制点を挙げる。その後も沼宮内のペースで試合が進み、16分#7上澤が力強いドリブルでサークル内をえぐり、#10山口がパスをもらいプッシュで確実に決め2-0となる。18分サークル内で細かいパスを合わせて相手を交わし#5岩崎がスイープシュートを決め3-0となる。その後、22分#10山口がPCでヒットシュートを決める。更に24分#10山口がサークルトップから持ち前のドリブルで相手を抜きプッシュを決め追加点を挙げる。阿南工業も少ないチャンスの中、沼宮内陣地まで攻め入るがなかなかシュートまでいくことができない。34分沼宮内#6笈口がサークルトップからリバースヒットを打つとゴール前にいた#上澤がタッチシュートで決め、6-0と沼宮内がリードし前半を折り返す。

後半に入っても沼宮内ペースで試合が進む。阿南工業もPCを取得するなど、攻める場面も増えたが沼宮内の堅いDFに阻まれてしまう。50分、沼宮内がPCを取得。リバウンドを#7上澤が押し込み7点目を挙げる。54分には#9大下がサークルトップから豪快なヒットシュート決め、差を広げる。57分#7上澤がドリブル突破を図り1度GKがはじいたボールをゴールに押し込み、得点につなげる。62分#2千葉のパスを#7上澤がプッシュシュートでゴールを決める。さらに70分には、#2千葉がプッシュシュートを決め、そのまま試合は11-0で沼宮内が勝利し、準々決勝にコマを進めた。

テクニカルオフィサー	鹿野 育郎	アンパイア	喜多 正司
ジャッジ	長屋 恭一・大橋 守		原口 淳一

Aコート 男子 第4試合

伊吹高校 2 $\begin{pmatrix} 2 & - & 1 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$ 1 岐阜総合高校

<得点>

伊吹 : 19分#7亀崎、23分#6井関

岐阜総合 : 32分#2中島

<戦評>

岐阜総合学園高校のセンターパスにより前半戦が開始された。5分、伊吹高校が立て続けにPCを取得するも先制点を挙げることは出来ない。10分岐阜総合#14日置にグリーンカードが科せられる。その後、互いにシュートチャンスはあるものの入らない。試合が動いたのは19分伊吹がPCを取得。#7亀崎がリバウンドを押し込み先制する。更に、23分DFからのロングパスを#6井関がうまくタッチであわせ追加点とする。得点が欲しい岐阜総合は32分PCを取得。リバウンドを冷静に#2中島がゴール右上にシュートを決め、2-1で前半戦を折り返す。

後半開始早々37分伊吹はPCを取得するがゴール左に外れ追加点を挙げる事ができない。その後互いにチャンスを得るも得点に繋がらない。58分伊吹#7亀崎にイエローカードが科せられる。岐阜総合は果敢に攻めるも伊吹の堅い守りを崩すことが出来ない。そのまま試合は2-1で伊吹が勝利し準々決勝へコマを進めた。

テクニカルオフィサー	横田 信明	アンパイア	竹内 高広
ジャッジ	長田 和雄・妹背 修治		押田 幸二

Bコート 男子 第1試合

岐阜各務野高校 1 $\left(\begin{array}{cc} 0 & - 3 \\ 1 & - 6 \end{array} \right)$ 9 丹生高校

<得点>

岐阜各務野 : 54分#2大竹

丹生 : 6分41分46分56分#11近藤、12分32分58分#10渡辺、68分#5和田、70分#15野村

<戦評>

岐阜各務野高校のセンターパスにより前半戦が開始された。立ち上がり丹生高校は早いパス回しから各務野陣内に攻め込み、6分に丹生#11近藤が混戦の中ブッシュシュートを決め、先制点を挙げる。勢いに乗った丹生は、12分#13館のセンタリングを#10渡辺が合わせ2-0とリードを広げる。各務野は堅い守りからロングパスを使用し攻撃を仕掛けるが、得点には至らない。32分にも丹生はPCを取得し#10渡辺がフリックシュートを決め、3-0で前半戦を折り返した。

後半戦に入っても丹生のペースで試合が進み、41分#11近藤が豪快なヒットシュートを決める。さらに、46分#11近藤が再びヒットシュートを決め5-0とリードを広げる。得点の欲しい各務野は54分#2大竹がPCからヒットシュートを決め、待望の1点を挙げる。しかし丹生の猛攻は続き、56分#11近藤、58分#10渡辺がFGで得点を挙げる。その後も68分、70分にも丹生はPCから得点を決め、9-1で丹生が圧勝し、準々決勝に駒を進める。

テクニカルオフィサー	竹内 芳郎	アンパイア	富山 喜正
ジャッジ	岩田 順充・刈谷 和代		木下 英貴

Bコート 男子 第2試合

北海学園札幌高校 0 $\left(\begin{array}{cc} 0 & - 9 \\ 0 & - 2 \end{array} \right)$ 11 今市高校

<得点>

北海学園札幌:

今市 : 3分#7藤原、5分20分44分#8竹原、6分13分18分#11太田、7分35分#9大嶋、24分50分OG

<戦評>

今市高校のセンターパスにより前半戦が開始された。立ち上がりから今市のペースで試合が展開される中、3分今市#9大嶋がサークル内に持ち込み#7藤原がタッチシュートを決め、先制点を挙げる。その後今市は5分#8竹原がこぼれ球をヒットシュートで決めると、6分#11太田、7分#9大嶋と立て続けに得点を決め4-0とリードを広げる。北海学園札幌高校もカウンターから得点を取りに行こうとするが、今市の堅い守備を崩すことができない。その後も今市の猛攻は続き、13分18分#11太田、20分#8竹原、24分オウンゴール、35分#9大嶋が追加点を挙げ、今市が9-0で大きくリードして前半戦を折り返す。

後半戦に入っても今市のペースで試合は進む。44分に今市#8竹元がヒットシュートで決める。50分にはオウンゴールで今市の得点となる。その後も今市の攻撃が続くが、北海学園#1菅原の好セーブにより得点を許さない。北海学園が攻め込む場面も見られたが、得点を挙げることができない。そのまま試合は終了し、11-0で今市が準々決勝に駒を進めた。

テクニカルオフィサー	出橋 英児	アンパイア	杉浦 利哉
ジャッジ	細江 秀和・加藤 直美		穴井 孟司

Bコート 男子 第3試合

飯能南高校 2 $\begin{pmatrix} 1 & - & 3 \\ 1 & - & 1 \end{pmatrix}$ 1 立命館高校

<得点>

飯能南 : 32分#10櫻井、64分#11森

立命館 : 47分#4加納

<戦評>

飯能南高校のセンターパスにより前半戦が開始。立ち上がり両チームとも相手陣内に攻め込み得点を狙うが、DF、GKのファインセーブにより互いに先制点を奪えない。31分飯能南#4用にグリーンカードが出され、人数が少なくなった飯能南だったが、32分#10櫻井がサークル内の混戦の中、左からヒットシュートを決め待望の先制点を挙げる。前半終了間際、34分35分に立命館は立て続けにPCを取得するも得点には繋がらず、1-0で飯能南がリードのまま前半戦を折り返した。

後半戦に入り序盤、飯能南のペースで試合は進む。立命館も攻撃のチャンスを狙い47分立命館はPCを取得。#4加納が決め1-1の同点となる。このPCをきっかけに立命館の猛攻は続きサークル付近でセンタリングを放つが得点には至らない。激しい攻防が続く中64分、飯能南がカウンターから攻め込みこぼれ球を#11森が滑り込みでシュートを決め追加点を挙げる。その後立命館がPCを取得するものの追加点を挙げる事ができない。2-1のまま飯能南が勝利し、準々決勝に駒を進めた。

テクニカルオフィサー	竹内 芳郎	アンパイア	木下 英貴
ジャッジ	岩田 順充・刈谷 和代		福山 秀人

Bコート 男子 第4試合

玄界高校 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 1 \\ 0 & - & 2 \end{pmatrix}$ 3 横田高校

<得点>

玄界 :

横田 : 12分#14野原、39分#10大塚、42分#2石原

<戦評>

横田高校のセンターパスにより前半戦が開始。立ち上がりから横田のペースで試合は進み、5分横田はPCを取得するが得点には至らない。その後も横田がパスカットから攻撃を仕掛け12分、横田がPCを取得し#14野原がリバウンドを押し込み先制点を挙げる。玄界高校も攻撃するが横田の堅い守りで得点に至らない。横田は23分24分と立て続けにPCを取得するが追加点にならない。玄界もパスを繋いだ攻撃を仕掛けるがなかなかサークル内にボールを持ち込むことができない。終了間際、横田は連続してPCを取得するも、玄界の粘り強い守備により得点には至らず、1-0で横田がリードのまま前半戦を折り返した。

後半戦に入り、横田ペースで試合が進む。39分横田は#10大塚がDFからマークを外し、力強いプッシュシュートを決め待望の追加点を挙げる。さらに42分、PCを取得し#2石原がフリックシュートを決め引き離す。その後も横田の猛攻が続くが玄界の堅い守備により追加点を挙げる事ができない。終了間際玄界も果敢に攻撃を仕掛けるが横田の粘り強い守備に阻まれ得点を決めることができない。そのまま試合は終了し、0-3で横田が勝利し、準々決勝に駒を進めた。

テクニカルオフィサー	出橋 英児	アンパイア	松村 満
ジャッジ	細江 秀和・加藤 直美 5		石橋 徹也

明日の組み合わせ

〈Aコート〉

第1試合 女子 1試合目 9:30	伊吹高校	VS	米沢商業高校
第2試合 女子 2試合目 11:20	飯能高校	VS	小国高校
第3試合 女子 3試合 13:10	横田高校	VS	北海学園札幌高校
第4試合 女子 4試合目 15:00	今市高校	VS	岐阜各務野高校
〈Bコート〉			
第1試合 女子 1試合目 9:30	須知高校	VS	丹生高校
第2試合 女子 2試合 11:20	川棚高校	VS	沼宮内高校
第3試合 女子 3試合目 13:10	羽衣学園高校	VS	沼津商業高校
第4試合 女子 4試合目 15:00	石動高校	VS	松山中央高校